

外部の知識や意見を取り入れ  
商品開発のスピードをアップ  
今後も継続して活用したい



専門性の高い  
知見を得て  
企業としての  
成長を実感

自社開発した技術を突き詰める

にかほ市で昭和48年に創業した三浦電子株式会社。同社は受託に頼らない経営基盤を構築すべく、昭和60年代から殺菌性電解水を作る装置の開発を進め、製品化に成功。現在、この業界ではパイオニアとして広く知られている存在である。

今回、活性化センターからの情報提供を受け、副業・兼業人材を活用したことについて、三浦博常務取締役役にお話を伺った。

「弊社の製品は電解槽が心臓部なのですが、その設計技術を確認することが今後の成長には不可欠でした。しかし専門性が高いため、自社内だけでは限界があり、新たに求人を出しても目的に合う人材を確保することは極めて難しい状況でした」。

令和4年3月に参加した副業・兼業人材制度のセミナーをきっかけに、専門性の高い人材とのマッチングを求め、リクルートのサンカクグループに相談。極めて専門性が高い求人内容なので、当初は応募があるか不安だったというが、最終的に電気化学の知見を持つ2名から応募があった。

新たな気づきで視界が開けた

応募者のうちの1名は、電気化学だけでなく機電系についての知見を持っていると感じ、半年の契約を交わした。

「まずは現地に来てもらい、事業の概要や現状を共有した上で、課題や試験方法、事業の進め方などについて相談しました。やはり、知識レベルが圧倒的に高く、これまでの経験や人脈を活かした情報収集力にも期待が持てる感じました」。

基本的には技術スタッフが窓口になり、副業人材の方と事業を遂行。オンラインで月に1～2回程度進捗を確認している。

「今年の5月には契約を更新しました。全体的に知識レベルが上がり、新たな気づきも生まれ、視界が開けましたね。能力のある外部の方と接点を持つことはとてもありがたいことだなと感じています」。

まさにマッチングが成功した好事例。今後も連携を取ることで、スピーディーな技術革新が期待される。



三浦電子 株式会社  
常務取締役  
三浦 博 Miura Hiroshi  
〒018-0402  
にかほ市平沢字堺田16-4  
TEL:0184-36-2772  
FAX:0184-36-2776



ホームページ

経営改善に意欲的な企業を  
多様な外部人材の獲得で  
支援します。

【お問い合わせ】  
秋田県プロフェッショナル  
人材戦略拠点  
TEL.018-860-5624



食中毒対策や厨房の衛生管理に役立つ「ビーコロン」。



外部人材との連携は技術スタッフのコミュニケーション能力を高め、成長に繋がる。



来春に「ビーコロン」のモデルチェンジを予定しており、工場内では検証試験が繰り返される。